

## 美女と野獣 (1946)

LA BELLE ET LA BETE

メディア 映画  
ジャンル ファンタジー  
製作国 フランス  
色彩 B&W  
時間 95分  
初公開日 1948/01/27  
公開情報 S E F = 東宝  
映倫 G  
リバイバル 2000/08 [セテラ]

## 【解説】

三人の娘を持つ商人が旅の途中、無人の古城に迷い込む。庭園のバラの花を摘むと、野獣が現れ、花盗人の命をもらうと脅したが、娘のうち一人が父の身代わりになるなら許すと言う。家に帰って父が話すと、末娘のベルが城行きを志願。会ってみれば野獣は心優しくった。父の病を知って帰宅を望むベルを家に帰し、一週間して戻らなければ悲しみに自分は死んでしまうと言う。一方、ベルを慕うアヴナンは野獣を殺し、その宝を奪おうと森に入る。ベルは魔法の鏡に彼女の不在を嘆く野獣を見て、急ぎ森に帰った。城に侵入したアヴナンは彫像に背中を射抜かれ野獣と変わり、逆に野獣が彼そっくりの王子となった。ベルと王子は見つめ合い抱擁し、そのまま天高く舞い上がり飛んで行った……。素朴な詩が現出するファンタジーの傑作。夢のように美しいラスト・シーンの昂揚を何と語ろう。コクトー魔術に、こちらはひたすら心を飛ばすだけである。

## 【クレジット】

監督	ジャン・コクトー	Jean Cocteau
製作	アンドレ・ポールヴェ	Andre Paulve
原作	ルプラン・ド・ボーモン	Leprince de Beaumont
脚本	ジャン・コクトー	Jean Cocteau
撮影	アンリ・アルカン	Henri Alekan
音楽	ジョルジュ・オーリック	Georges Auric
出演	ジャン・マレー	Jean Marais
	ジョゼット・デイ	Josette Day
	マルセル・アンドレ	Marcer Andr
	ミシェル・オークレール	Michel Auclair
	ミラ・パレリ	Mila Parely